

第44回大分県文化財愛護少年団のつどい

「文化財愛護少年団」は、将来、地域の担い手となる子どもたちが、地域の歴史や文化を知り、後世へと守り伝えるために設立されました。県内各地で多くの子どもたちが、歴史文化の学習、伝統芸能の継承、文化財の解説等に活躍しています。昭和53年には、団体同士の交流を深めるために連絡協議会が結成され、年に1度「つどい」を開催し日頃の活動の発表会を行っています。

今年で44回目となる“つどい”は文化財愛護少年団だけでなく、文化財子どもガイド、民俗芸能団体など、文化財の保護に関わる子どもたちが一堂に会し、それぞれの活動や練習の成果を発表します。今回はオープニングにて、佐伯市鶴岡神子太鼓の皆様にご公演いただきます。文化財を守り伝えるために活躍する子どもたちの姿を、是非ご覧ください！

◆ 日時

令和6年11月16日(土)
午前10時～午後4時(予定)

◆ 主催

大分県文化財愛護少年団
連絡協議会

◆ 会場

佐伯市保健福祉総合センター 和楽
(佐伯市向島1丁目3-8)

◆ 共催

佐伯市教育委員会
大分県教育委員会

◆ 入場料 無料

一般参加
大歓迎!!

◆ オープニング

鶴岡神子太鼓

◆ 活動発表

各団の活動報告、公演



鶴岡神子太鼓の公演ようす



白坪杖踊り愛護少年団の公演のようす

【問い合わせ】 大分県文化財愛護少年団連絡協議会事務局
TEL:097-506-5498(大分県教育庁文化課内)